

みなさんからのしつもんにお答えします。

(代表的なもののみ)

※昔(むかし)＝「北海道開拓の村の建物(たてもの)が建てられたころ」として回答しています。もっと詳(くわ)しい答えが必要な場合は、ご連絡下さい。

しつもん.1

北海道という名前はいつから使われているのですか？

こたえ.1

北海道は以前、「蝦夷地(えぞち)」「蝦夷が島」などとよばれていましたが、明治2年(1869)8月15日に蝦夷地を「北海道(ほっかいどう)」と呼ぶことが決められました。

しつもん.2

昔の人はどんな服を着ていましたか？

こたえ.2

着物(きもの)や羽織(はおり)、浴衣(ゆかた)、袴(はかま)など和服が多く着られましたが、シャツ、ブラウス、ジャケット、ズボン、スカートなど洋服も着ていました。

しつもん.3

冬の間は何をしていましたか？

こたえ.3

寒(さむ)さや雪(ゆき)のため畑(はたけ)で作物を作ることができないので、開拓(かいたく)が始まったばかりの頃(ころ)は、家のなかで藁靴(わらぐつ)や草鞋(わらじ)、草履(ぞうり)などの履物(はきもの)を作ったり、山に入って木を伐(き)り出したり炭(すみ)を焼(や)いたりして働(はたら)いていました。

しつもん.4

昔はテレビがなかったのですか？

こたえ.4

はい。開拓の村の建物が建てられたころはまだテレビはありませんでした。人々(ひとびと)は新聞(しんぶん)や手紙(てがみ)、人から伝(つた)え聞(き)く話(はなし)に情報(じょうほう)の多くをたよっていました。

しつもん.5

北海道ではお米を作れなかったと聞きましたが、本当ですか？

こたえ.5

北海道に住む人々は江戸時代(えどじだい)よりお米作(こめつく)りに挑戦(ちょうせん)していました。寒(さむ)さのために何度(なんど)も失敗(しっばい)しましたが、食べ物としてのお米だけでなく、草鞋(わらじ)や草履(ぞうり)などの履物(はきもの)や、縄(なわ)やむしろなどの生活(せいか)に欠(か)かせない道具(どうぐ)の材料(ざいりょう)である藁(わら)も必要(ひつよう)でした。

そして、努力(どりょく)と工夫(くわふ)を重ねた結果(けっか)、北海道でも安定(あんてい)して稲(いね)を育ててお米(こめ)を収穫(とく)することができるようになりました。

